

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	なかよし		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		2024年 12月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2024年 12月 9日		2024年 12月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幼稚園と併用のお子さんが殆どで、幼稚園クラスからの移動で安心出来る。	職員の配置がほぼ1対1での対応が出来る。	一人一人のお子さんの特性を理解すること、それに応じた関わり方、工夫をする為に関係者間での情報共有をする。
2	幼稚園から児発までの保護者の送迎がないので負担が少ない。	保護者の方々の心配や質問にタイムリーにお答えする。	職員間での情報共有。
3	小集団で安心して過ごす時間の保障が大集団への参加に繋がっている。	1クラスの人数が多くても4名まで。	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部からのお子さんが現在少ない	外部からのお子さんのご利用者を増やすようにすること。	外部からのお子さんのニーズを把握し、答えられるように工夫する。
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	学校法人石渡学園 なかよし
------	---------------

公表日 年 月 日

利用児童

数 30名

回収数 30名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				教室の1室を使用しており十分なスペースがとれていると思います。 確保されていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	96.4%			3.6%	子ども達が安全にあそべるように、配置していただいている 適切だと思います。 人数が多くて、手厚いサポートが受けられる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	89.3%			7.1%	適切だと思います。。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	96.4%			3.9%	環境になっていると思います。	
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	85.7%	7.2%		7.1%	とても思います個性特性をよくご理解 いただき、手厚い支援をくださっている	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	96.4%			3.6%	合っていると思います。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96.4%			3.6%	思います。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96.4%	3.6%			とても思います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	92.9%	7.1%			思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	85.7%	7.1%	3.6%	3.6%	思います。 ABCDクラスがあり時間が分かれて いて内容もその子や年齢に応じた 内容になっています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	82.1%			7.1%	あります 幼稚園内に教室があるため他の児童 と触れ合う機会がある。 同学年よりお兄さん、お姉さん との交流が多いです。 利用して間もないのでまだわかりません。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	96.4%	3.6%			丁寧な説明がありました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96.4%		3.6%		説明を受けました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	85.7%	10.7%		3.6%	行われています。 月1でお話会や、親への勉強会 など行っています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	96.4%	3.6%			とても親身になってくださります。 持病により感染対策が必要な我が子にオン ラインで対応をしていただくなどあら ゆる工夫や努力が見られる。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	96.4%	3.6%		とてもいつも助けられています。いつもこまめに様子を教えて下さり、とてもありがたいです。メールでの報告相談も手厚く、密にコミュニケーションがとれ、非常にありがたい。年2回面談をもうけています。他にも報告や相談等あれば時間を作って聞いてくださいます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%			とても思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	78.6%	7.1%	14.3%	されていると思います。お話の会で同年代の子どもの保護者の交流だけでなく、先輩方のお話を伺う機会も設けて頂き、大変なになっている。	
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%			対応されています。常に臨機応変に迅速な対応が得られる。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%			とても思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	82.1%	10.8%	7.1%	されていると思います。幼稚園のGoogleアカウントで連絡がきます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	89.3%	10.7%		とても思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した	89.3%	3.6%	7.1%	されています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	78.6%	7.1%	14.3%	思います。我が子がまだ参加していないだけで定期的になされていると思われる。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	89.3%	3.6%	7.1%	行われていると思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	96.4%	3.6%		されていると思います。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%			とても楽しく通えている。とても安心して通所しています。ずっと行きたいと言っております。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%			毎週楽しみにしています。とても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%			支援を利用させていただくことで、子どもの自己肯定感や自己効力感がとても上がっていると感じます。そして何より非常に安らげる場所になっているなと感じます。いつも本当に感謝しています。このご縁に感謝しています。親子共々大満足です。とにかく親身になってお話を聞いてくださったり手厚い対応を頂き感謝している。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	学校法人石渡学園 なかよし				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		必要な子にはパーテーション使用。 本棚の向きやパーテーションで落ち着ける空間を作る工夫がされている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		個別対応が出来ている。 子どもたちの安心を第1に職員を手厚く配置している。 ほとんどが1対1に近い、手厚い対応シフト調整を工夫していただけるなど感じます。 当日の打ち合わせで職員の配置を再確認、決定している。 手厚い人員配置で子どもの状態に丁寧にできています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		個別の課題置き場や情報伝達等、子どもがわかりやすい環境設定になっている。	平屋でほとんど段差がなくバリアフリーにも適しているなど感じますが、部屋に入る際のちょっとした段差には、必要になったら簡易的なスロープを用意しても良いのかもかもしれません
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		室内、屋外、思いっきり遊べる。 子どもが好きなおもちゃを整理して取り易く管理されている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		必要に応じてパーテーションを使っている。 発達支援室のみでなく、幼稚園の屋外の自然や遊具等や遊具等も子どもの必要に応じて十分に使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		職員で情報が共有できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		対面でお話できること。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎朝の打ち合わせ、月1回の会議、何かあった時に直ぐに相談できる環境がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83,3%	16,7%	知らないだけで行われているのかもしれない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		大久保先生の実在、外部講師、インターネット研修など。 なかよしの職員のみならず、幼稚園職員も研修参加が認められ、情報を共有させてもらえる。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		保護者も相談しやすい環境にある。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		計画書、日々の記録を支援員皆が確認することが出来る。 組織全体での会議を実施し、多くの視点で検討を重ねて作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		支援計画がファイルされ、必要に応じて職員が目を通せる状態になっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	91,7%	8,3%		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			始業前にチームで打ち合わせを行い、情報共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	チームが同じ場所で記録を取りながら振り返りを共有できる環境がある。全員集まって出来てはいないが、各々で共有したり、記録を確認している。時間に限りがあり、全体で打ち合わせとまでは出来ていませんが、職員間で振り返り、気付いた点や疑問点の共有をし、翌日以降の朝や月1回の打ち合わせで共有できるように工夫されています。	毎日振り返りを共有しているわけではない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			定例会議の中でモニタリングをし、共有、検討している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	91,7%	8,3%	会議と言うより、対面で話す機会に相談、報告している。（電話もある）	サービス担当者会議が行われていない
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			幼稚園内に支援所を併設
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			訪問、書面、電話
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%			相談員に相談する、巡回相談の機会、電話での相談など。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%				
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			保護者による送迎により、直接顔を合わせて話が出る環境にある。とても細かく保護者に寄り添い、共通理解を図っていると感じる。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%			法人内での幼稚園、なかよし、で紹介されている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			作成前に面談を行い、保護者や保護者を通した本人の意向を確認する機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%				
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	91,7%	8,3%			対面で送迎時に話をする。 毎月のお便りを通じて活動日程、内容その他をお伝えしている。 HPやSNS等での活用はないですが、月のお便りで十分に発信出来ていると思います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	91,7%	8,3%			同法人内の幼稚園が行っている、そこに参加している。 事業所単体ではないが、併設の幼稚園を通して地域との交流を図っている。
非常時等の対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%				併設の幼稚園を通して行っている。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%				午後の訓練は経験していますが、午前中は実践が難しいところがあると思うので、各自でイメージしておくことが必要だと思いました。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%				併設の幼稚園を通して行っている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%				併設の幼稚園を通して行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%				併設の幼稚園を通して行っている。

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	91,7%	8,3%	併設の幼稚園を通して行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		併設の幼稚園を通して行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	75%	25%		身体拘束について組織的に決定はされていない